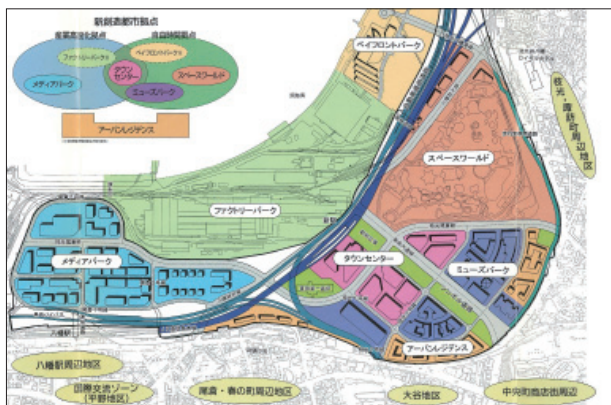


旧八幡製鉄所（現日本製鉄九州製鉄所八幡地区）の遊休地開発の約 108 ha を対象とした新市街地計画が 1984 年から開始され、93 年の八幡東田地区周辺まちづくり地域デザイン基本計画策定（マスタープラン：都市計画設計研究所・南條道昌氏）、翌 94 年の組合設立認可を受け、JR 鹿児島線の線路移設を前提とした基盤整備の移行し、アプルが財）udc と協働で「ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業顔づくり計画書」から地区計画（案）作成、公共空間デザインを担当、継続的に 100 m 幅員道路および駅前広場や街路網等の各施設のデザイン監修等を行った。

製鉄所開設 100 周年・2001 年の「街びらき」に先立ち、「北九州博覧祭 2001（7～11 月・特定地方博）」が開催され、現在は北九州市立いのちのたび博物館の他、北九州イノベーションギャラリー、大型ショッピングセンター、集合住宅地となっている。



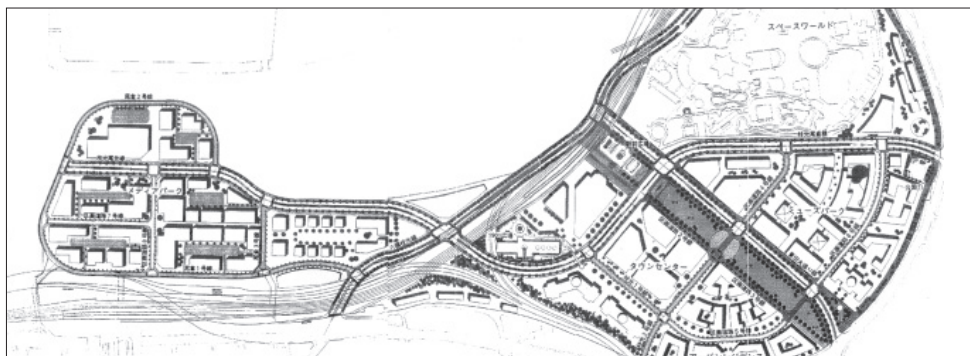
八幡東田地区全体マスタープラン（八幡東田総合開発計画 2001 パンフレットより転載）



八幡東田総合開発計画 2001 パンフレット表紙



東田地区開発計画中心部 CG（作成・新日本製鉄）



公共空間（街路・公園・広場等）整備全体計画図



100 m 道路（東田シンボル緑地）



区画道路



歩道橋



八幡駅南北連絡地下通路

経緯 基本計画・都市計画設計研究所／東田地区ふるさとの顔づくり計画書作成 '94.10～'95.3 北九州市／八幡東田地区景観設計・デザイン監理 '96.5～'00.12 財 udc（北九州市東田土地区画整理組合）／地区サイン等設計業務 '98.2～'3・同／公共連絡通路内装等基本設計 '99.1～'3・同
担当：中野、萩原、重山、藤本、関本、岩村、熊耳、協力：ナグモデザイン（照明デザイン・南雲勝志）、色彩計画研究所（色彩・大坪和子）